

# 平成 28 年度 事業報告書

公益財団法人 全国老人クラブ連合会

# 【目 次】

概 況	1
1. 高齢者をめぐる社会情勢	1
2. 事業の重点	2
<b>公益目的事業</b>	4
1. 老人クラブ活動の活性化事業	4
（1）老人クラブ組織間の連絡調整・活動の支援	4
① 都道府県・指定都市老連会長会議の開催	4
② 都道府県・指定都市老連女性代表者会議の開催	5
③ 都道府県・指定都市老連常務理事・事務局長会議の開催	5
④ ブロック連絡協議会への参加	7
⑤ 活動促進モデル事業の実施	7
⑥ 指導書等の作成・配布	7
⑦ 学習・活動教材の作成・普及	8
（2）指導者・活動推進担当者の育成	8
① 老人クラブリーダー中央セミナーの開催	8
② 老人クラブリーダーブロック研修会の開催	9
③ 女性リーダーセミナーの開催	14
④ 健康づくり中央セミナーの開催	15
⑤ 在宅福祉を支える友愛活動セミナーの開催	16
⑥ 新任事務局長・職員研修会の開催	16
⑦ 活動推進担当者研究セミナーの開催	17
（3）顕彰の実施	17
① 表 彰	17
② 活動賞	18
2. 老人保健福祉思想の普及啓発	18
① 「老人の日・老人週間」キャンペーン運動の展開	18
② 高齢者の孤立を防ぐ仲間づくり活動の展開	19
③ 全国三大運動（健康・友愛・奉仕）の提唱	20
④ 全国老人クラブ大会の開催	21
⑤ 全国健康福祉祭における「地域文化伝承館」の開設	25
⑥ 月刊誌の発行	26
⑦ ホームページの開設	26

3. 高齢者に関わる調査研究	26
① 政策委員会の設置・開催	26
② 女性委員会の設置・開催	30
③ 老人クラブ活動を推進するための検討会の開催	30
④ 都道府県・指定都市老連組織・事業調査の実施	31
4. 国内外の災害及び難民等の支援	31
① 国内の災害被災地支援	31
② 海外の災害被災地支援	32
<b>相互扶助等事業</b>	33
1. 活動の充実に資する拠金運動及び安全対策	33
① 活動拠金運動の実施	33
② 活動安全対策	33
<b>その他法人の目的を達成するための事業</b>	34
1. 法人の運営及び法人事務の遂行	34
① 法人の運営	34
② 法人事務の遂行	36
2. 関係団体との連携	37
3. 国際交流事業の実施	37

# 概 況

## 1. 高齢者をめぐる社会情勢

### (1) 「地域共生社会」の実現に向けて

- 平成 28 年 6 月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」を受け、厚生労働省内に『我が事・丸ごと』地域共生社会実現本部」が設置された。
- 「地域共生社会」とは、高齢者や障害者などすべての人々が「支え手」「受け手」という関係を越えて『我が事』として参画し、世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会のことである。

### (2) 新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

- 国は持続可能な社会保障制度の確立を図るため、要介護状態になっても地域で暮らし続けられるように医療・介護・住まい・生活支援・介護予防が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築をめざしている。
- 介護保険法の改正（平成 27 年 4 月第 6 期）により、平成 27 年度から 3 年のうちに予防給付（訪問介護・通所介護）を市町村が実施する地域支援事業として移行されることになった。2 年目となる 28 年度には、全国の約 4 割にあたる 626 市町村で移行され、29 年 4 月からはすべての市町村で取り込まれることになる。
- この動きに対しては、助け合い活動を推進する市民活動・住民活動や高齢者福祉を推進する 14 団体による「新地域支援構想会議」（事務局：全国社会福祉協議会）に本会も参画して、引き続き情報交換や資料作成を行った。

### (3) 平成 29 年度国家予算

- 「一億総活躍社会」の実現、「経済・財政再生計画」の推進を掲げた平成 29 年度予算は 3 月 27 日に可決・成立した。一般会計予算総額 97.5 兆円のうち、税収が 57.7 兆円、公債金が 34.4 兆円で公債依存率は 35.3%（前年比△0.3%）となった。
- このうち社会保障関係費は 32.5 兆円（33.3%）で、前年より 5 千億円弱（1.6%）の増加である。
- 老人クラブ関係予算は 26.1 億円で、前年度から 2 千万円減額された。

### (4) 高齢者人口・老人クラブ数の状況

- 平成 28 年 10 月 1 日現在の総務省の調査では、我が国の人口は 1 億 2,693 万人で、前年に比べ 16.2 万人が減少した。65 歳以上人口は 3,459 万人で、前年に比べ 72.3 万人増加している。

- 65歳以上人口の割合は27.3%と過去最高になり、75歳以上人口の割合は13.3%とおおよそ7.5人に1人が75歳以上となっている。

① 年齢3区分別人口

(各年とも10月1日現在)

	総人口	高齢者人口 (65歳以上)	生産年齢人口 (15～64歳)	年少人口 (0～14歳)
平成28年	126,933,000人	34,591,000人 (27.3%)	76,562,000人 (60.3%)	15,780,000人 (12.4%)
	差 △162,000人	723,000人	△720,000人	△165,000人
平成27年	127,095,000人	33,868,000人 (26.6%)	77,282,000人 (60.8%)	15,945,000人 (12.5%)

(平成28年：総務省統計局人口推計：平成29年3月21日公表)

(平成27年：27年国勢調査結果による補間補正人口：平成29年1月30日公表)

(※数値は四捨五入のため、合計の数値と内訳の計は必ずしも一致しない)

- 100歳以上人口は、過去最多の6万5692人となり、うち女性が87.6%を占めている。

- 老人クラブ数は平成28年3月の調査集計である。前年比2,251クラブ(2%)、会員数18万2千人(3%)が減少、会員数の減少率は0.3%改善されている。

② 老人クラブ数・会員数

	平成28年	平成27年	増減
クラブ数	103,281クラブ	105,532クラブ	△2,251クラブ
会員数	5,879,616人	6,061,681人	△182,065人

(厚生労働省「福祉行政報告例」：平成28年3月末現在)

## 2. 事業の重点

### (1) 老人クラブ「100万人会員増強運動」の推進(第3年次)

平成26年度から5カ年計画で推進する「老人クラブ『100万人会員増強運動』」は、第3年次を終えた(3年次の結果は29年6月初旬に判明予定)。

本会では第2年次の結果を集約して、会員増をはたした市区町村老連にアンケートを実施、全国段階の会議における情報交換や今後の検討に役立てた。また「100万人会員増強運動特別賞」として優良クラブ・老連を顕彰するとともに、会員増強事例を発掘して、月刊「全老連」において紹介、併せて広報に努めた。

第2年次は、都道府県・指定都市老連において会員が増加した老連はなかった(第1年次は1老連)。市区町村老連では会員増加は334老連(19%)であり、前年より3%増加したことは評価できる。会員増加市区町村老連では平均0.7クラブ増えており、クラブの

減少0.3クラブを上回っている。

運動開始前との会員数比較では、6.3%減少した。都道府県・指定都市老連ごとに差が大きく、最小1.1%から最大15.7%の減少である。このことから、まずは運動開始前のレベルに回復することに努めたい。

第3年次の中間年にあたり、好事例の発掘と横展開をめざすことを呼びかけた。また、運動策定当時の政策委員による検討会を開催し、その協議内容と全国会議における検討をふまえて、今後2カ年の運動の重点として次の4点に取り組むこととした。

1. 市区町村老連との協議の場づくり
2. 新規クラブの立ち上げ
3. 解散クラブの防止
4. 単位クラブは純増をめざす

## (2)「新地域支援事業に向けての行動提案」の推進

平成27年度から3年のうちに順次市町村に移行される「新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）」について、会議・セミナー等の機会に、市町村老連における積極的な対応を呼びかけた。特に、同事業の協議の場である協議体への参画、これまで老人クラブで実施してきた友愛活動や健康づくり・介護予防活動を活かした活動の展開を呼びかけた。

また、これからの方向性を「老人クラブ活動と新地域支援事業との関連について」として、めざす老人クラブ活動のイメージを次の5点にまとめた。

- ① 多様な生活支援
- ② 多様な通いの場づくり
- ③ 見守り支援
- ④ 健康づくり支援
- ⑤ 情報伝達支援

これに対応して冊子「老人クラブがめざす友愛活動」、「私たちの地域を支え合おう～地域共生社会に向けた事例集」を作成、都道府県・指定都市老連、市区町村老連に広く配布した。

# 公益目的事業

## 1. 老人クラブ活動の活性化事業

### (1) 老人クラブ組織間の連絡調整・活動の支援

各種会議の開催、ブロック会議への参加、モデル事業の実施、指導書・学習教材等の作成・普及を通じて、組織間の連携を図るとともに、活動の支援を行った。

#### ① 都道府県・指定都市老連会長会議の開催

地方組織のトップリーダーが集い、老人クラブの活性化と組織強化を通じて、老人の保健福祉の増進に寄与するために開催した。本年度は、全国的な事業をめぐる諸課題について、各都道府県・指定都市老連の取り組み状況等をもとに研究・協議を行った。

期 日：平成28年12月6日（火）～7日（水）

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第3～5会議室」

参加人数：60名（ほかオブザーバーとして女性委員・事務局長等44名が参加）

会議内容：行政説明1「介護保険制度の現状・課題と老人クラブに期待すること」

厚生労働省老健局振興課長 三浦 明

基調説明「全国的な事業をめぐる諸課題について」

全老連常務理事 齊藤 秀樹

活動発表「老人クラブ『100万人会員増強運動』の取り組みについて」

○ 石川県老人クラブ連合会における会員増強運動

石川県老連会長 八田 幹也

○ 兵庫県老人クラブ「2.5万人会員増強運動」の取り組み

兵庫県老連会長 中村 美津子

報 告

・厚生労働大臣表彰について

・熊本地震について

行政説明2「高齢者医療制度の現状と課題」

厚生労働省保険局高齢者医療課長 泉 潤一

女性委員会報告

全老連副会長・女性委員長 駒場 玲子

全 体 会

・老人クラブ「100万人会員増強運動」の取り組みについて

・「新地域支援事業」への取り組みについて

## ② 都道府県・指定都市老連女性代表者会議の開催

地方組織の女性代表者が集い、女性の立場からの老人クラブの活性化と組織強化を通じて、老人の保健福祉の増進に寄与するために開催した。本年度は、全老連女性委員会の推進課題の「100万人会員増強運動」と「老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーン」について検討・協議を行った。

期 日：平成28年5月17日（火）

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第3～5会議室」

参加人数：59名

会議内容：基調説明「老人クラブ組織の発展に向けて—全国運動、行動提案等—」

全老連常務理事 齊藤 秀樹

報 告「平成27年度女性リーダーに関する活動報告」

全老連女性委員 西山 順子

活動報告

○ 「100万人会員増強運動」について

新潟県老連副会長・女性文化部会委員長 川上 イツ

○ 「高齢消費者被害防止キャンペーン事業」の取り組みについて

奈良県老連副会長・女性部会長 黒飛 文子

ブロック別情報交換

全体協議・報告

## ③ 都道府県・指定都市老連常務理事・事務局長会議の開催

地方組織の実務責任者が集い、老人クラブの活性化と組織強化を通じて、老人の保健福祉の増進に寄与するために開催した。

〔第1回〕

全老連、都道府県・指定都市老連が主唱する「老人クラブ『100万人会員増強運動』」の各都道府県・指定都市における運動2年目の推進状況を持ち寄り、今後に向けた検討・協議を行うとともに、「新地域支援事業」に関する情報交換を行った。

期 日：平成28年7月4日（月）～5日（火）

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第3～5会議室」

参加人数：61名

会議内容：厚生労働省説明「介護保険制度をめぐる施策の動向について」

厚生労働省老健局振興課課長補佐 愛甲 健

基調説明

- ・老人クラブ「100万人会員増強運動」の推進について
- ・新地域支援事業の推進について
- ・老人クラブ関係補助金の活用について

- ・活動安全対策について

全老連常務理事 齊藤 秀樹

#### 事例発表

- 「100万人会員増強運動」の推進について

茨城県老連事務局長 岡崎 賢一

- 「新地域支援事業」の推進について

大阪府老連常務理事・事務局長 磯村 勉

#### 分散会

- ・老人クラブ「100万人会員増強運動」の推進について
- ・新地域支援事業の推進について
- ・老人クラブ関係補助金の活用について
- ・活動安全対策について

#### 報告

- ・老人クラブ「高齢消費者被害防止キャンペーン」について
- ・第22回「在宅福祉を支える友愛活動」セミナーについて
- ・みずほ教育福祉財団「介護予防・健康づくり支援事業」の取り組みについて
- ・第45回全国老人クラブ大会の開催について（富山県）
- ・第29回全国健康福祉祭ながさき大会「第26回地域文化伝承館」の開設について（長崎県）

#### 全体会

##### 〔第2回〕

平成29年度に向けた全老連事業計画・予算案をはじめ、老人クラブを取り巻く社会情勢に対応する重要な課題等について、検討・協議を行った。

期 日：平成29年2月8日（水）

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第3～5会議室」

参加人数：62名

会議内容：厚生労働省説明「介護保険制度をめぐる施策の動向と老人クラブへの期待」

厚生労働省老健局振興課課長補佐 愛甲 健

基調説明「平成29年度事業計画・概算予算案について」

全老連常務理事 齊藤 秀樹

同 総務部長 谷野 香

#### 全体会

- ・平成29年度事業計画・概算予算案について

#### ④ ブロック連絡協議会への参加＜国庫補助事業＞

ブロックごとに都道府県・指定都市老連の法人代表者、女性代表者、実務責任者が集い、当面する諸課題等について検討・協議する連絡協議会に出席して、必要な説明・助言等を行った。

ブロック	期 日	開 催 地	出 席 者
北海道・東北	平成 28 年 4 月 14 日～15 日	宮 城 県	常務理事 齊藤 秀樹
関 東	平成 28 年 5 月 10 日	東 京 都	常務理事 齊藤 秀樹
東海・北陸	平成 29 年 1 月 25 日～26 日	愛 知 県	常務理事 齊藤 秀樹
近 畿	平成 28 年 4 月 26 日	兵 庫 県	常務理事 齊藤 秀樹
中 国	平成 28 年 4 月 27 日～28 日	広 島 市	常務理事 齊藤 秀樹
四 国	平成 28 年 4 月 12 日	高 知 県	常務理事 齊藤 秀樹
九 州	平成 29 年 2 月 16 日～17 日	佐 賀 県	常務理事 齊藤 秀樹

#### ⑤ 活動促進モデル事業の実施＜みずほ教育福祉財団助成事業＞

本会において企画した高齢者の生きがいづくり・健康づくりに資する事業に取り組む市町村老連を募集し、事業資金を交付するとともに、必要な活動教材等を作成・配布した。

##### i. 老人クラブ介護予防・健康づくり推進事業

都道府県・指定都市老連を指定し、モデル市区町村老連による介護予防・健康づくりのリーダー養成とキャンペーンイベントに取り組んだ。

実 施 県：青森県、宮城県、山形県、茨城県、群馬県、山梨県、石川県、岐阜県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、鳥取県、島根県、広島県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、福岡市、大分県、宮崎県、鹿児島県  
／ 24 老連

モデル数：39 市区町村老人クラブ連合会

##### ii. 活動教材等の作成・配布

事業の効果的な促進を図るため、のぼり旗を作成・配布した。

規 格：のぼり旗「みんなでのぼそう！健康寿命」（45cm×180cm）

作 成 数：100 枚

配 布 先：実施県（24 か所）・モデル市区町村老連（39 か所）

#### ⑥ 指導書等の作成・配布＜国庫補助事業＞

老人クラブ活動の促進を図るための資料を作成した。平成 27 年の介護保険制度の改正にともない 3 年以内に市町村に移行される「新地域支援事業（介護予防・日常生活支援）」を受け、老人クラブにおける幅広い友愛活動、これからの新地域支援事業に資する事例集を作成し、都道府県・指定都市老連及び市区町村老連へ配布するとともに、ホームページ上に掲載した。

- 地域共生社会に向けた事例集「私たちの地域を支え合おう」

規 格：A4判、16ページ

作成部数：75,000部

配 布 先：都道府県・指定都市老連、市区町村老連

## ⑦ 学習・活動教材の作成・普及

老人クラブの効果的な運営や活動に資するため、各種学習・活動教材を作成・普及した。

### i. 老人クラブ活動日誌・老人クラブ会計簿・老人クラブ手帳

- ・老人クラブ活動日誌 12,776部
- ・老人クラブ会計簿 16,983部
- ・老人クラブ手帳 52,612部

### ii. 老人クラブリーダー必携

- ・平成28年度版「老人クラブリーダー必携」13,000部

### iii. 健康づくり関連教材

- ・いきいきクラブ体操CD（音楽） 262枚（延べ36,706枚）
- ・いきいきクラブ体操DVD（映像） 481枚（延べ18,208枚）
- ・高齢者向け体力測定ハンドブック 1,475部（延べ39,743部）
- ・高齢者向け体力測定手帳 5,182部（延べ83,755部）
- ・健康ウォーキングハンドブック 724部（延べ 8,456部）
- ・健康ウォーキング手帳 1,794部（延べ26,259部）
- ・いきいきダイアリー 3,349部

### iv. おばあちゃん世代の育児体験記

- ・「泣いて、笑って、昭和の子育て。」 22部（延べ 6,491部）

## (2) 指導者・活動推進担当者の育成

系統的な研修事業を通じて、老人クラブリーダー及び職員の資質向上を図った。

### ① 老人クラブリーダー中央セミナーの開催<国庫補助事業>

都道府県・指定都市老連の中心的リーダー、若手リーダーを対象に、第34回目となる「老人クラブリーダー中央セミナー」を開催した。本年度は、「老人クラブ『100万人会員増強運動』」の目標達成に向けた情報交換を研究、協議を行った。

期 日：平成28年6月2日（木）～3日（金）

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第3～5会議室」

参加対象：都道府県・指定都市老連の中心的リーダー・若手リーダー及び担当職員

参加人数：85名

研修内容：行政説明「介護保険制度をめぐる施策等の動向について」

厚生労働省老健局振興課課長補佐 愛甲 健  
基調報告「老人クラブ組織の発展に向けて」

全老連常務理事 齊藤 秀樹

事例発表

○友愛活動で新地域支援事業への参画を目指す

埼玉県さいたま市老連副会長 新藤 享弘

○自治会の協力を得て新設クラブの立ち上げ

岐阜県かがやきクラブ大垣（市老連）副会長 近藤祥二郎

講演「地域のネットワークで取り組む『見守り・支えあい』」

東京都荒川区社会福祉協議会地域ネットワーク課長 鈴木 訪子

分散会・グループ協議「すべての地域にクラブをつくろう！」

全体会

## ② 老人クラブリーダーブロック研修会の開催<国庫補助事業>

全国7ブロックにおいて、郡市町村老連のリーダーを対象に、開催地の都道府県・指定都市老連と共同で開催した。老人クラブを取り巻く状況を理解し、地域において果たすべき役割の確認を行った。本年度の参加者総数は2,153名であった。

<北海道ブロック>

期 日：平成28年7月21日（木）～22日（金）

会 場：札幌市南区 ホテルミリオーネ

参加人数：262名

研修内容：基調報告「老人クラブ組織の発展に向けてー全国運動・行動提案等ー」

全老連常務理事 齊藤 秀樹

講話「介護予防・日常生活支援総合事業とLOREN支えあいパートナー事業の取り組み」

北海道池田町社会福祉協議会事務局次長 佐藤 智彦

事例発表

○ 潮見老人クラブの取り組み

北海道網走市老連理事・潮見老人クラブ副会長 黒田 幸市

○「老人クラブとまちづくり」について～老人クラブのメリットを最大限に生かした『まちづくり』への参加～

札幌市厚別区老連みずほ楓会会長 高澤 英治

分散会「会員増強運動ー魅力ある老人クラブを目指してー」

分散会報告

<東北ブロック>

期 日：平成28年7月14日（木）～15日（金）

会 場：秋田県鹿角市 大湯温泉 ホテル鹿角

参加人数：397名

研修内容：基調報告「老人クラブ組織の発展に向けてー全国運動、行動提案等ー」

全老連常務理事 齊藤 秀樹

グループ討議「新規クラブをどう立ち上げる？」

事例発表「会員増強の取り組みについて」

- 「地域の高齢者との縁を耕し、絆を結ぶために」

岩手県盛岡市西青山三丁目かつらぎ会会長 佐藤 忍

- 「若手委員会の設立」 宮城県石巻市老連会長 武山 萬

- 「私たちの会員増強運動の取り組みについて」

秋田県八峰町老連会長 工藤 哲弥

- 「会員増強運動の取り組みについて」

青森県藤崎町老連会長 高木 尚

- 「笑顔あふれる仲間づくり」 山形県山形市老連会長 亀谷千代子

- 「会員増強『工夫とアイディア』単位クラブと地区老連の両輪を牽引して目的地へ向かう」

福島県福島市清水地区老連南沢又北寿楽東会会長 伊藤 伍一

講演「心豊かな少子・高齢社会に向けて」 秋田県副知事 堀井 啓一

#### <関東ブロック>

期 日：平成28年6月30日（木）～7月1日（金）

会 場：栃木県日光市 きぬ川 ホテル三日月

参加人数：252名

研修内容：基調報告「老人クラブ組織の発展に向けてー全国運動、行動提案等ー」

全老連参事 河野 敦子

#### 分科会

##### 【第1分科会「仲間を増やす活動の推進」】

- 生き生きー猿沢長寿会ー

新潟県村上地域老連朝日地区協議会副会長 高橋 達男

- 桜ことぶきクラブ「ちょびっとお助け隊」

山梨県中央市桜ことぶきクラブ会長 中村 一良

##### 【第2分科会「健康づくり・介護予防活動の推進」】

- 鬼石モデル・筋力トレーニングを实践して「スキーをしても『もも』が痛くならない」 群馬県沼田市老連会長 桑原 幸夫

- 田島老人クラブ・健康ウォーキング推進

川崎市小田地区小田4丁目第1老人クラブ会長 河村 秋孝

##### 【第3分科会「地域支え合い活動の推進」】

○ 心の通う「健康・友愛・奉仕」の活動で支え合うまちづくりを目指して  
栃木県宇都宮市みどり野長寿会会長 小野口乾二

○ 島田市いきいきクラブ連合会の友愛ネットワークづくり  
静岡県島田市いきいきクラブ連合会副会長、中楽会会長 山本 義雄

**【第4分科会「若手高齢者の力を活かす活動の推進」】**

○ 若手高齢者の力を活かす活動の推進  
茨城県坂東市新町シニアクラブ会長 倉持 萬吉

○ 若い力で、クラブに活力を！ 千葉県老連若手委員長 鶴沢 功

分科会報告

講演「世界遺産『日光』－その謎と魅力－」

日光市天台宗観音寺住職・栃木県立博物館名誉学芸員 千田 孝明

<東海・北陸ブロック>

期 日：平成28年6月30日（木）～7月1日（金）

会 場：福井県あわら市 芦原温泉 グランディア芳泉

参加人数：193名

研修内容：基調報告「老人クラブ組織の発展に向けて－全国運動・行動提案等－」

全老連総務部長 谷野 香

講演「高齢者の生活と介護問題」 福井大学名誉教授 高田 洋子

事例発表

**【行政や自治会、他団体との連携で成功している事例】**

○ 行政とタイアップして老人クラブ活動活性化にチャレンジ  
名古屋市中村区老連会長 天野 直明

○ 日進市老人クラブ連合会活動の紹介  
愛知県日進市老連前会長 宇野 公秀

**【サークル活動でクラブが活性化している事例】**

○ 伊勢方言かるたを広めよう  
三重県伊勢市勢田町船江山プラチナ会会長 前島 賢

○ 南砺市福野北部長寿会活動報告  
富山県南砺市福野北部長寿会副会長 福富 幹夫

**【クラブの復活又は新設された事例】**

○ リーダーシップにより未設置地域に新しい老人クラブをつくろう!!  
岐阜県岐阜市長良西老連会長 富田 秀造

〃 鶉老連会長 堀江 實

○ 糸町老人クラブ「悠々会」の生い立ちと申請

石川県小松市糸町悠々会会長 亀田 健一

全体会

<近畿ブロック>

期 日：平成28年6月22日（水）～23日（木）

会 場：京都市下京区 京都東急ホテル

参加人数：297名

研修内容：基調報告「老人クラブ組織の発展に向けてー全国運動、行動提案等ー」

全老連総務部長 谷野 香

分科会

【第1分科会「『健康づくり・介護予防活動』と100万人会員増強運動】

- 「健康づくり・介護予防活動」と100万人会員増強運動について

京都府久御山町シニアクラブ連合会会長 中村 勝之

- 「健康づくり・介護予防活動」の推進

兵庫県市川町老連副会長・女性部長 古家 憲子

- 「健康づくり・介護予防活動」と100万人会員増強運動

奈良県平群町長寿会連合会会長 扇田 修身

【第2分科会「新地域支援事業に繋がる『地域支え合い運動』と100万人会員増強運動】

- 会員と応援加盟店で地域の支え合いと互いの活性化を目指そう！

滋賀県栗東市老連会長 吉仲 幸子

- 新地域支援事業に繋がる「地域支え合い運動と100万人会員増強運動」

堺市南区御池台校区老連会長 田村 實

【第3分科会「地域の諸団体と連携したまちづくりと100万人会員増強運動の推進】

- 京都市北区すこやかクラブの取り組み

京都市北区長寿クラブ連合会副会長 藤原 てつ

- 地域の団体と連携したまちづくりと100万人会員増強運動の推進

大阪市東成区老人クラブ会長 家門 昇次

【第4分科会「100万人会員増強運動と組織強化の推進】

- 100万人会員増強運動と組織強化の推進

大阪府高石市老連副会長・若手部会長 柴田 正明

- 仲間づくり活動について！

神戸市北区老連理事・白寿会会長 丸山 義雄

- 若竹（わ・か・た・け）で魅力ある仲間づくりを！

和歌山県串本町老連副会長 谷口 公子

講演「お口からのぼそう！健康寿命ー健康長寿のまち・京都ー」

京都市保健福祉局保健衛生推進室保健医療課歯科保健係長 橋野 恵衣

全体会

<中国・四国ブロック>

期 日：平成28年7月13日（水）～14日（木）

会 場：香川県琴平町 ことひら温泉 琴参閣

参加人数：311名

研修内容：基調報告「老人クラブ組織の発展に向けてー全国運動・行動提案等ー」

全老連参事 岡本まゆみ

事例発表・討議

【第1部「会員増強の推進について」】

- 会員増強・7つの否定と取り組み成果

広島市佐伯区老連会員増強プロジェクト委員会委員長 井唯 瑞彦

- 未加入者への呼びかけや情報発信についてー魅力あるクラブづくりと単位クラブの活性化ー

徳島県阿南市畷町セニヤ楽喜クラブ会長 安藤 寿武

- 一人一名 会員加入促進運動

高知県宿毛市いきいきクラブ平田会長 松岡 陽一

【第2部「友愛・奉仕活動の推進について」】

- 友愛・奉仕活動の推進について

鳥取県鳥取市老連常任理事・社会奉仕部長 中尾 艶子

- みんなで支え合う地域づくり！友愛活動！

山口県周南市下上菊寿会連合会理事 内田 昭郎

- 高齢者とのふれ合いを大切に 愛媛県松前町老連前会長 谷口 圭祐

【第3部「『健康づくり・介護予防活動の推進』について」】

- 老人クラブが主体となった健康づくり介護予防活動の展開

島根県雲南市老連木次町支部事務局長 金山 信夫

- 健康体操ステップアップ教室

岡山県瀬戸内市老連企画推進部会副部会長 木下 武夫

- 健康づくり・介護予防活動の推進 岡山市老連女性委員 光本 政子

講演「人生8合目からが面白い」 総本山善通寺法主 檜原 禅澄

総括

<九州ブロック>

期 日：平成28年7月7日（木）～8日（金）

会 場：福岡市 ヒルトン福岡シーホーク

参加人数：441名

研修内容：基調報告「老人クラブ組織の発展に向けてー全国運動、行動提案等ー」

全老連参事 河野 敦子

研究部会

【第1研究部会「健康づくり・介護予防活動の推進」】

- 健康と介護予防 佐賀県武雄市老連副会長・女性部長 池上 泰子
- ウコン栽培を活用した老人クラブ活動  
熊本県宇城市豊野町老連会長 古田 誠隆
- 地域にある団体や施設を利用して健康づくり活動  
大分県大分市老連副会長 工藤 清一

【第2研究部会「友愛活動（高齢者の相互支え合い）の推進」】

- 地域に根ざし活動する老人クラブの現状  
鹿児島県鹿児島市老連副会長 橋元 弘
- シルバーヘルプサービス活動の実際  
長崎県佐世保市老連副会長・女性部長 田坂 弘子
- うるま市老連具志川支部友愛活動について  
沖縄県うるま市老連具志川支部女性部長 糸洲スエ子

【第3研究部会「会員増強（100万人会員増強運動）の推進」】

- 会員増強と推進策  
北九州市門司区老連シニア門司クラブ会長 篠原 俊樹
  - 魅力ある事業・活動の推進 福岡市西区老連副会長 生田 猷二
  - 老人総動員の自治会型老人クラブ  
福岡県遠賀郡遠賀町シニアクラブ中央会長 実藤 武俊
- 講演「高齢者お笑い防犯講座－高齢消費者被害防止－」  
福岡県安全・安心まちづくりアドバイザー 宮田 健二

全体会

③ 女性リーダーセミナーの開催<国庫補助事業>

都道府県・指定都市老連の女性リーダーを対象に、第28回目となる「女性リーダーセミナー」を開催した。本年度は、「100万人会員増強運動」と「新地域支援事業に向けての行動提案」そして「老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーン」の3つの全国的な取り組みを展開している。これらの活動の推進に向けて「示そう！女性パワー」をテーマに、市区町村老連における中心的な女性リーダーを対象に、日ごろの取り組みを持ち寄り、活動の推進について学び、理解を深めた。

期 日：平成28年10月5日（水）～6日（木）

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第3～5会議室」

参加対象：都道府県・指定都市老連の女性リーダー及び担当職員

参加人数：112名

研修内容：行政説明「新地域支援事業（新日常生活支援総合事業）」について

厚生労働省老健局振興課予算係長 唐島 啓一

基調報告「老人クラブの全国運動・行動提案について」

全老連常務理事 齊藤 秀樹

事例発表

「会員増強に向けた取り組み」

東京都青梅市老連副会長・女性委員長 並木 明

滋賀県野洲市老連理事・生きがい部長 白井 京子

「高齢消費者被害防止に向けた取り組み」

群馬県高崎市長寿会連合会副会長・女性部長 川端 幸枝

神戸市老連理事・女性委員長 頼廣 安子

分散会

全体会

④ 健康づくり中央セミナーの開催

老人クラブが全国的にすすめる健康づくり・介護予防活動の効果的な推進に資するため、都道府県・指定都市老連が行う健康づくり事業に協力・支援が期待できる者（健康づくり推進員）を対象に、第14期目となる「健康づくり中央セミナー」を開催した。総合的な健康づくりの課題に対する学習の機会を提供し、第1期から14期までに育成した健康づくり推進員は延べ890名となった。

期 日：平成29年2月22日（水）～24日（金）

会 場：神奈川県葉山町 中央福祉学院研修施設「ロフォス湘南」

参加対象：健康づくり事業への協力・支援を期待できる75歳未満の者及び健康づくり事業をコーディネートする都道府県・指定都市・市町村老連の職員

参加人数：60名

研修内容・講師

区分	内容	講師	履修時間
基礎講座	○介護予防と老人クラブ	国際医療福祉大学大学院教授 竹内孝仁	1.5
専門講座	運動 ○高齢期の運動による健康づくり (講義・実技)	順天堂大学名誉教授 武井正子	2.5
	栄養 ○高齢期の食生活のあり方	日本栄養士会専務理事 迫 和子	1
	医療 ○上手な医療の受け方	日本医師会副会長 今村 聡	1
	歯 口腔 ○歯・口腔の健康管理について	日本歯科医師会地域保健委員会 ワーキングメンバー 細野 純	1
	薬 ○医薬品の正しい知識と使い方	日本薬剤師会一般用医薬品等委員会 委員 福島紀子	1
	事故 防止 ○高齢者に多い事故とその予防	東京消防庁防災部防災安全課 生活安全担当係長 藤崎進稔	1

グループ学習	○健康づくりの輪を広げよう！	全国老人クラブ連合会事務局	1
まとめ	○健康づくり推進員に期待する	全国老人クラブ連合会常務理事 齊藤秀樹	1
合計			11

#### ⑤ 在宅福祉を支える友愛活動セミナーの開催<国庫補助事業>

地域で援助を必要とする高齢者の安否確認や生活を支援する「友愛活動」を実践している市町村段階のリーダーを対象に、第22回目となる「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」を開催した。本年度は、各自治体で進められている地域支え合いの取り組みに友愛活動を通じて、どのように参画していくか事例発表や情報交換をとおして理解を深めた。

期 日：平成29年2月15日（水）～16日（木）

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第3～5会議室」

参加対象：友愛活動を実践し、活動の推進にあたっている市町村老連のリーダー及び友愛活動をコーディネートする都道府県・指定都市・市町村老連の職員

参加人数：118名

研修内容：行政報告「介護保険制度の改正と老人クラブに期待すること」

厚生労働省老健局振興課課長補佐 愛甲 健

基調報告「老人クラブの全国運動・行動提案について」

全老連常務理事 齊藤 秀樹

活動報告・講演「老人クラブの『新地域支援事業』における取り組み」

報告①サロン活動を通じた介護予防

徳島県鳴門市老連若手委員長 藤村 松男

報告②日常生活支援「LOREN支え合いパートナー事業」の取り組み

北海道池田町老連副会長・女性部長 庄司 朝子

講演「老人クラブの新地域支援事業における取り組み」

昭和女子大学教授 北本 佳子

分散会

全体会

#### ⑥ 新任事務局長・職員研修会の開催<国庫補助事業>

老人クラブ活動の円滑な支援にあたるため、都道府県・指定都市老連の新任事務局長・活動推進員等事務局職員を対象に開催した。老人クラブ活動の現状や課題、全国的な動向等を把握するために必要な研修及び情報提供を行った。

期 日：平成28年4月21日（木）

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第6～7会議室」

参加対象：都道府県・指定都市老連の新任事務局長・活動推進員等事務局職員

参加人数：34名

内 容：研修 1「老人クラブの歴史と現状・課題」 全老連常務理事 齊藤 秀樹

研修 2「埼玉県老連におけるリーダー養成の取り組み」

埼玉県老連常務理事・事務局長 落合 一弘

DVD上映「同世代での助け合い運動～在宅福祉を支える友愛活動」

(愛知県阿久比町 宮津山田達者会)

研修 3「全老連の事業等について」 全老連総務部長 谷野 香

### ⑦ 活動推進担当者研究セミナーの開催<国庫補助事業>

老人クラブ活動の支援にあたるため、それぞれの都道府県・指定都市老連に配置されている活動推進員等事務局職員を対象に、第41回目となる「都道府県・指定都市老連活動推進員担当者研究セミナー」を開催した。本年度は、会員増強運動を独自の運動計画により推進する中で、会員増に成果をあげている市区町村老連の事例を持ち寄り、意見交換を行い、今後の運動の推進に向けて参考となる情報の共有化を図った。

期 日：平成28年8月8日（月）

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第3～5会議室」

参加対象：都道府県・指定都市老連の活動推進員等事務局職員

参加人数：31名

研修内容：基調説明「老人クラブ『100万人会員増強運動』の推進について」

全老連総務部長 谷野 香

事例発表

・神戸市老連における会員増強運動の推進について

神戸市老連事務局次長・活動推進員 伊藤 雄祐

・徳島県老連における会員増強運動の推進について

徳島県老連係長・活動推進員 那佐 英昭

グループ協議

全体会

### (3) 顕彰の実施

長年にわたる活動の功労者や優れた取り組みを顕彰する表彰、活動賞を実施した。

#### ① 表 彰

高齢者の取り組み意欲の向上と活動の充実発展に資するため、老人クラブの育成発展に功績のあった個人及び団体に対し表彰を行った。受章者及び受章団体には全国老人クラブ大会の席上で表彰状を授与するとともに、大会参加者には受章者名簿を配布した。また、大会終

了後、月刊「全老連」1月号(大会報告号)においても受章者名簿を掲載し、公表を行った。

対 象：育成功労者、優良老人クラブ、優良郡市区町村老人クラブ連合会、永年勤続者  
選 考：表彰審査委員会において選考

期 日：平成28年8月1日(月)

会 場：東京都千代田区 全国老人クラブ連合会事務局

メンバー：全老連副会長、東京都老連会長 増田 時枝

全老連理事、大阪市老連理事長 中 保昌

全老連常務理事 齊藤 秀樹

受章者・団体：育成功労表彰 121名

優良老人クラブ表彰 53団体

優良郡市区町村老人クラブ連合会表彰 63団体

永年勤続表彰 16名

## ② 活動賞

優れた実践活動の普及拡大を図るため、他の模範となる活動に取り組んでいる老人クラブ並びに市区町村老連等を対象に「活動賞」「100万人会員増強運動特別賞」を実施した。受賞団体には当該都道府県・指定都市老連を通じて賞状を伝達した。

また、月刊「全老連」誌上(活動賞：10月・2月・3月号、特別賞：11月号)において、取り組み内容を紹介、併せて受賞団体名を掲載した。

対 象：老人クラブ、地区老連、郡市区町村老連

選 考：表彰審査委員会において選考(前記「① 表彰」参照)

受賞団体：活動賞 119団体(クラブ81、地区老連23、市区町村老連15)

特別賞 121団体(クラブ88、地区老連3、市区町村老連30)

## 2. 老人保健福祉思想の普及啓発

全国運動の推進、全国老人クラブ大会の開催、地域文化伝承館の開設、広報活動等を通じて、老人保健福祉思想の普及啓発を図った。

### ① 「老人の日・老人週間」キャンペーン運動の展開

老人保健福祉思想の普及啓発を図るため、行政をはじめ保健・福祉・医療・介護等の関係団体と連携して、「老人の日」(9月15日)及び「老人週間」(9月15日～21日)の趣旨や意義を広く国民に周知するキャンペーン運動を展開した。

標 語：「みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会」

実施期間：9月15日の「老人の日」から21日までの「老人週間」の1週間

主 唱：全国老人クラブ連合会、内閣府、厚生労働省、消防庁、全国社会福祉協議会、

長寿社会開発センター、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、日本社会福祉士会、日本介護福祉士会

協 賛：NHK、日本新聞協会、日本民間放送連盟

## ② 高齢者の孤立を防ぐ仲間づくり活動の展開

国民的課題である高齢者の孤立を防ぎ、互いに支え合うネットワークを構築するため、全国的な仲間づくり活動として「老人クラブ『100万人会員増強運動』(第3年次)を展開した。

運動スローガン：「総力を結集して 全国100万人会員増強を達成しよう！」

実施期間：平成26年度～平成30年度(5カ年)

主 唱：全国老人クラブ連合会、都道府県・指定都市老人クラブ連合会

実施主体：単位クラブ、市区町村老人クラブ連合会

運動目標：全国100万人会員増強

共通実施：①勧誘から始めよう！ ②クラブをPRしよう！ ③クラブをつくろう！

ア. 運動第2年次(平成27年度)の取り組み結果

### i. 目標と結果

◆目標：全国約20.7万人増加 ⇒ 結果：約17.6万人減少

○増加の目標に対して、現状を下回る結果となった。

### ii. 都道府県老連の状況

◆目標達成、会員増加ともなし

### iii. 市区町村老連の状況

◆会員増加：334老連(19%) ◆増減なし：53老連(3%)

○会員増加老連は3%、増減なし老連は1%増えた。

### iv. 新規会員の状況(32県から提出)

◆年齢別：高年会員39%・若手会員61%

◆男女別：男性43%・女性57%

○現状の男女比と比較して女性の加入がやや低調。

### v. 会員増市区町村老連アンケート結果(215老連提出)

#### ・クラブ数の増減

156クラブ増(平均0.7クラブ)、61クラブ減(平均0.3クラブ)

#### ・会員増加のポイント及び効果をあげた取り組み

① 声かけ、戸別訪問 59老連(27%)

② クラブ新設、解散防止 49老連(23%)

③ 他機関との連携(自治会等) 33老連(15%)

④ 活動による勧誘、新行事の実施 32老連(15%)

⑤ 組織内推進(実績公表や意識づけ) 23老連(11%)

#### イ. 運動第2年次までの会員数実績

◆運動開始時（平成26年）を基準とした28年の会員数割合：全国平均6.3%減少

○都道府県・指定都市老連ごとに差が大きい（最小1.1%減～最大15.7%減）。

#### ウ. 今後2カ年の運動の重点について

運動3年次の中間年にあたり、検討会（30頁参照）や全国会議における検討を経て、今後2カ年の運動の重点を下記の4項目に取りまとめた。併せて、好事例の発掘とその横展開に努めることとする。

##### 1. 市区町村老連との協議の場づくり

組織内へ運動が十分浸透していない現状から、都道府県・指定都市老連役職員が市区町村老連へ出向いて現場の状況把握を行い、具体的方策について地元老連正副会長、事務局等と協議する場をもち、実効性のある運動推進に努める。

##### 2. 新規クラブの立ち上げ

##### 3. 解散クラブの防止

##### 4. 単位クラブは純増をめざす

### ③ 全国三大運動（健康・友愛・奉仕）の提唱

老人保健福祉思想の普及啓発を図るため、高齢者自らが取り組む「健康」（健康づくり・介護予防活動）、「友愛」（高齢者が相互に支え合う活動）、「奉仕」（ボランティア活動）の3つの活動を提唱し、全国的な推進を図った。

実施期間：「老人の日・老人週間」を重点期間に通年

主 唱：全国老人クラブ連合会、都道府県・指定都市老人クラブ連合会

実施主体：単位クラブ、市区町村老人クラブ連合会

#### ア. 健 康

##### i. 健康学習・講座等の普及拡大

##### ii. いきいきクラブ体操・高齢者向け体力測定・健康ウォーキングの普及推進

##### iii. 健康づくり関係団体（地域包括支援センター等）との連携

##### iv. 都道府県・指定都市老連が実施する健康づくり大学校・老連大学校への支援

#### イ. 友 愛

##### i. 訪問・サロン（集い）・情報提供・暮らしの支え合いの活動推進

「新地域支援事業」への移行が自治体ですすむ中、これまでの老人クラブ活動を活かして地域支え合いに参画していくため、老人クラブがめざす友愛活動を5つの項目に分類して解説した入門書となる活動教材を作成し、都道府県・指定都市老連及び市区町村老連へ配布した。

##### ○ 「老人クラブがめざす友愛活動」

規 格：A4判、20ページ

作成部数：65,000部

配布先：都道府県・指定都市老連、市区町村老連

ii. 新地域支援事業への参画推進

iii. 認知症・孤立死防止・高齢者虐待等の学習・実践と地域関係者との連携

ウ. 奉仕

i. 全国一斉「社会奉仕の日」の推進

ii. 「老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーン」の実施

実施期間：平成26年度～平成28年度（3カ年）

主 唱：全国老人クラブ連合会、都道府県・指定都市老人クラブ連合会

実施主体：単位クラブ、市区町村老人クラブ連合会

後 援：消費者庁、警察庁、厚生労働省、国民生活センター、全国消費生活相談員協会、全国銀行協会、全国社会福祉協議会、全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、全国民生委員児童委員連合会

実施内容

- ・単位クラブにおける「見守りサポーター」の設置
- ・関係機関や団体と連携した高齢消費者被害防止活動の展開
- ・啓発のぼり等推進用具の配布

28年度：北海道、山形県、福島県、茨城県、栃木県、山梨県、静岡市、福井県、岐阜県、堺市、鳥取県、島根県、香川県、高知県、福岡県、熊本県、宮崎県、沖縄県の18道県・指定都市における55市区町村老連

iii. 地域（子ども）見守り、防犯・防災、交通安全、災害緊急時等の対策と実践

#### ④ 全国老人クラブ大会の開催

老人保健福祉思想の普及啓発を図るため、地域において老人クラブ活動に取り組む実践者が一堂に集い活動交流や式典を行う、第45回目となる「全国老人クラブ大会」を開催した。本大会は、富山県老連と共同で主催し、全国から約1,300名の参加を得た。

また、第46回大会に向けた準備を進めた。

ア. 「第45回全国老人クラブ大会」の開催

初日は事例発表をとおして発展方向を探る2つの部会、日頃の活動を舞台上で表現する演じる活動部会の計3部会に分かれ、2日目は一堂に会して講演と式典を開催した。今回で3回目となる演じる活動部会では、全国公募により5団体が出演し、金賞（千葉県）、銀賞（愛知県・富山県）、奨励賞（広島市・岐阜県）をそれぞれ受賞した。また、演じる活動部会「舞台発表」については映像記録（DVD）を作成し、頒布した。

メインテーマ：のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを

主 催：全国老人クラブ連合会、富山県老人クラブ連合会

後 援：厚生労働省、全国社会福祉協議会、長寿社会開発センター、富山県、富山市、富山県社会福祉協議会

期 日：平成28年11月9日（水）～10日（木）

日程・会場：第1日 活動交流部会 13:30～16:30 タワー111「スカイホール」

富山県農協会館「ホール」

富山県民会館「ホール」

第2日 講演・式典 9:30～12:00 富山市芸術文化ホール（オーガード・ホール）

参加対象：老人クラブ関係者、行政並びに社会福祉協議会等の担当役職員

参加人数：1,309名

講演・式典内容

司会 高橋 美

保子

〔講演〕 9:30～10:20

「健康寿命の延伸を目指して」

富山市長 森 雅志

〔アトラクション〕 10:20～10:40

「越中五箇山民謡」

富山県立南砺平高等学校 郷土芸能部

〔式典〕 11:00～12:00

歓迎の言葉 富山県老連会長

島田 祐三

国歌斉唱

黙 禱

挨拶 全老連会長

斎藤 十朗

表彰 全老連会長表彰

老人クラブ育成功労表彰 代表 富山県 武田喜代子

優良老人クラブ表彰 代表 三重県 野原老人クラブ

優良郡市区町村老連表彰 代表 愛知県 西尾市老人クラブ連合会

永年勤続表彰 代表 岡山県 小林 裕子

祝 辞 厚生労働大臣

塩崎 恭久

富山県知事

石井 隆一

富山県議会議長

大野 久芳

富山市長

森 雅志

宣言朗読 富山県老連副会長・女性委員長

加藤 美智子

次回大会報告 京都府老連会長

香月 芳雄

閉会の言葉 全老連副会長、宮城県老連会長

武山 萬

歌「青い山脈」 富山県老連 女性委員会

活動交流部会内容

<第1部会 地域に健康づくり・介護予防活動の輪を広げよう>

事例発表「地域の支え合いでつなぐ元気高齢者をめざす」

富山県南砺市福野北部長寿会副会長 福富 幹夫

「生き生き健康づくりと介護予防」

名古屋市緑区戸笠不老クラブ連合会前会長 鹿島 昭裕

『健康長寿のまち にいざ』の実現に向けて」

埼玉県新座市老連友愛活動部会長 細谷 節子

同 事務局（市長寿支援課） 金山 徳夫

座 長	黒圖 盛男	栃木県老連会長
同	城代 高志	島根県老連事務局長
助 言 者	茂古沼 江里	富山県高岡市 福岡地域包括支援センター所長
同	唐島 啓一	厚生労働省老健局振興課予算係長
幹 事	青木 郁子	石川県老連職員

参加人数 361名

<第2部会 未設置地区にクラブをつくろう！>

事例発表「単位クラブ活性化への一歩」

富山県朝日町いきいき連合会監事 南茂 寛

『会員増強運動』でクラブと会員を増やす！」

佐賀県鹿島市老連会長 高松 昭三

「新規クラブ結成で会員数大幅増を目指して」

栃木県小山市老連元会長 神川 清

同 事務局 武田 浩伸

座 長	藤本 澄子	福井県老連理事
同	武田 岩夫	横浜市老連事務局長
助 言 者	野口 典子	中京大学現代社会学部教授
幹 事	北川 香里	三重県老連主事

参加人数 295名

<第3部会 演じる活動（舞台発表）>

舞台発表「創作ダンス」

広島市中区幟町地区老連

「伝統芸能 白川民謡」 岐阜県白川村明生長寿連合会白川郷民謡愛好会

「フラダンス」

愛知県岩倉市老連ゆうわ会

「創作舞踊」

富山県富山市大沢野老連いきいき楽踊会

「創作 舞踊と寸劇・楽々健康ダンス」

千葉県成田市玉一豊寿会

司 会	和田 三千代	京都府老連事務局次長
幹 事	赤松 紀久実	長野県老連職員

参加人数 448名

## 大会宣言

### 宣 言

老人クラブは仲間づくりを基本に、生きがいつくり、健康づくり、地域づくりをめざして幅広い活動に取り組んできました。

高齢者が増え続けるわが国は、要介護者の増加や高齢者の孤立、消費者被害などの課題に直面するなかで、いま全国の市町村では、新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）に取り組み、地域で高齢者を支える体制の整備が急がれています。

私たち老人クラブは、これまでの活動経験をもとに、高齢者の暮らしを支えるため、行政や自治会、社会福祉協議会などの関係団体と共に、あたたかな地域づくり活動への参画をめざしています。

一方、仲間の輪を広げる会員増強運動は、5年計画の中間年を迎え、声かけや体験型の勧誘のほか、特に自治会と連携した新たなクラブの立ち上げによる成果など、これまでの成功例に学び、さらに運動の強化に努めたいと思います。

豊かな自然環境に恵まれ、「人が輝く元気とやまの創造」をめざす富山県に集う私たちは、自らが輝き、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、高齢者の暮らしを支える「新地域支援事業」への参画
- 一、老人クラブ「100万人会員増強運動」の推進
- 一、健康寿命をのぼす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、消費者被害防止キャンペーンの展開
- 一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

平成28年11月10日

第45回全国老人クラブ大会

## 大会関係会議：活動交流部会協議打合せ会

日 時 平成28年11月9日（水） 12:00～13:00

会 場 富山県富山市 富山県民会館「611会議室」

内 容 活動交流部会座長、助言者、幹事による打合せ

大会報告：「第45回全国老人クラブ大会報告号」として、月刊「全老連」1月号を都道府県・指定都市老連を通じて大会参加者等に配布した。

内 容 大会概要、宣言、祝辞、表彰受章者一覧、活動交流部会報告等

## イ. 次回以降全国老人クラブ大会の準備

### i. 平成29年度、第46回大会の準備

主 催：全国老人クラブ連合会、京都府老人クラブ連合会

期 日：平成29年10月18日（水）～19日（木）

#### ⑤ 全国健康福祉祭における「地域文化伝承館」の開設

国及び開催地都道府県・指定都市等が主催する高齢者の文化とスポーツの祭典「全国健康福祉祭」（ねんりんピック）において、老人保健福祉思想の普及啓発を図るため、高齢者が日頃地域で取り組んでいる伝承活動や生きがいと健康づくり活動を披露するパビリオン「地域文化伝承館」を開設し、同世代や他世代との交流を行った。

##### ア. 第29回全国健康福祉祭ながさき大会における第26回「地域文化伝承館」の開設

第29回全国健康福祉祭ながさき大会（ねんりんピック長崎2016）において、第26回目となる「地域文化伝承館」を開設し、日頃の活動の成果を披露するとともに、世代間の交流を行った。

主 催：厚生労働省、長崎県、長寿社会開発センター

主 管：全国老人クラブ連合会、長崎県老人クラブ連合会

期 日：平成28年10月15日（土）～17日（月）

会 場：長崎県長崎市 長崎県立総合体育館 武道場

内 容：長崎県下市町老人クラブ連合会による実演・体験交流・発表

- ・地域文化・生活文化の伝承活動

- ・地域に伝わる民俗芸能・郷土芸能の伝承活動

- ・創意・工夫を活かして取り組んでいる健康・生きがいづくりの活動

PR・報告：月刊「全老連」7月号及びホームページ上において、事前PR記事を掲載して広く周知を図るとともに、開設後、12月号において取り組みの概況を報告した。

##### イ. 第29回全国健康福祉祭ながさき大会への参加協力

長崎県内で開催された第29回全国健康福祉祭ながさき大会に積極的に参加協力した。

テ ー マ：「長崎で ひらけ長寿の 夢・みらい」

主 催：厚生労働省、長崎県、長寿社会開発センター

期 日：平成28年10月15日（土）～18日（火）

開 催 地：長崎県内12市3町

##### ウ. 第30回全国健康福祉祭あきた大会における第27回「地域文化伝承館」の準備

平成29年度に開催の第30回全国健康福祉祭あきた大会（ねんりんピック秋田2017）において、開催地である秋田県老連が主体となって「地域文化伝承館」を開設するための準備作業を進めた。

##### i. 第30回全国健康福祉祭あきた大会の概要

テ ー マ：「秋田からつなぐれ！ つらなれ！ 長寿の輪」

主 催：厚生労働省、秋田県、長寿社会開発センター

期 日：平成29年9月9日（土）～12日（火）

会 場：秋田県内13市3町1村

ii. 第27回「地域文化伝承館」の概要

主 催：厚生労働省、秋田県、長寿社会開発センター  
主 管：全国老人クラブ連合会、秋田県老人クラブ連合会  
期 日：平成29年9月9日（土）～11日（月）  
会 場：秋田県秋田市 秋田拠点センター「アルヴェ」

⑥ 月刊誌の発行

広報誌・月刊「全老連」を発行し、老人保健福祉思想の啓発を図り、各地の老人クラブ活動の先進事例や高齢者をめぐる社会の動き、生活関連情報等について、都道府県・指定都市老連、市区町村老連、関係者等へ配布した。

また、各都道府県・指定都市老連が発行する広報誌を一括して収集し、全国の都道府県・指定都市老連へ送付した。

⑦ ホームページの開設

老人クラブの組織や活動の紹介、高齢者に関わる情報などを掲載したホームページを開設し、公開した。「活動紹介」コーナーでは、年間をとおして全都道府県・指定都市老連の協力を得て、事例掲載を行った。

3. 高齢者に関わる調査研究

高齢者の保健福祉の増進と老人クラブ活動の充実発展に資するため、各種委員会を設置・開催し、調査研究を行った。

① 政策委員会の設置・開催

政策委員会を開催して、高齢者の生活と福祉の向上並びに老人クラブ活動の発展に資する制度施策について調査研究を行うとともに、その対策活動を推進した。本年度は特に、老人クラブ関係予算への対応等について研究・協議を行った。

また、保健・福祉・医療・介護・年金等の社会保障制度、住宅・公共交通・情報通信（IT）のバリアフリー（障壁解消）化、防犯・防災・交通事故防止対策など、高齢者に関わる制度施策の充実発展に資するため、当事者としての立場から、厚生労働省をはじめ国土交通省、消費者庁等の行政機関や関係団体が設置した審議会、委員会、懇談会、研究会等に参画し、提言・要望を行った。

ア. 幹事会の開催

期 日：平成28年7月4日（月）  
会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第2会議室」

- 内 容：・正副幹事長の選任について  
 ・老人クラブ関係予算への対応について

【政策委員会委員・幹事名簿】

<委 員>

委員長	増 田 時 枝	全老連副会長、東京都老連会長
副委員長	秋 山 隆	政策委員会幹事長、東京都老連事務局長
委 員	駒 場 玲 子	全老連副会長・女性委員会委員長、埼玉県
	松 寿 庶	全老連副会長
	齊 藤 秀 樹	全老連常務理事
	兼 子 久	全老連理事
	藪 本 冬 樹	政策委員会副幹事長、大阪市老連事務局長

<幹 事>

幹 事 長	秋 山 隆	東京都老連事務局長〔再掲〕
副幹事長	藪 本 冬 樹	大阪市老連事務局長〔再掲〕
幹 事	戸 嶋 正 紀	秋田県老連事務局長
	大 薮 定 信	千葉県老連事務局長
	室 田 正 雄	富山県老連事務局長
	松 浦 孝 治	広島市老連事務局長
	京 極 眞 弓	愛媛県老連事務局長
	本 田 哲 朗	長崎県老連事務局長

イ. 行政機関・関係団体の審議会・委員会等への参画

機関・団体名	審議会・委員会等の名称	就 任 者
厚生労働省	社会保障審議会臨時委員 (介護給付費分科会)	政策委員会委員 全老連常務理事 齊藤秀樹
	社会保障審議会臨時委員 (介護保険部会)	政策委員会委員 全老連常務理事 齊藤秀樹
	社会保障審議会臨時委員 (医療保険部会)	政策委員会委員 全老連理事 兼子 久
	社会保障審議会専門委員 (統計分科会生活機能分類専門委員会)	政策委員会委員 全老連常務理事 齊藤秀樹
国土交通省	全国バリアフリーネットワーク会議	全老連総務部長 谷野 香
	高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した 建築設計のあり方に関する検討委員会委員	政策委員会委員 全老連常務理事 齊藤秀樹
	移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等 の構造及び設備に関する基準等検討委員会委員	総務部長 谷野 香
消費者庁	消費者教育推進会議委員	政策委員会委員 全老連常務理事 齊藤秀樹
	高齢消費者・障害消費者見守りネット ワーク連絡協議会構成員	全老連総務部長 谷野 香

消費者庁・農林水産省	加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会委員	政策委員会委員 全老連常務理事 齊藤秀樹
国土交通省関東運輸局	関東管内バリアフリーネットワーク会議委員	埼玉県老連常務理事・事務局長 落合一弘
社会福祉法人 全国社会福祉協議会	社会福祉制度・予算対策委員会委員	政策委員会副委員長・幹事長 東京都老連常務理事・事務局長 秋山 隆
一般社団法人 シルバーサービス振興会	シルバーマーク基準認定委員会委員	政策委員会委員 全老連常務理事 齊藤秀樹
公益財団法人 日本防災協会	防災製品認定委員会委員	政策委員会幹事 千葉県老連常務理事・事務局長 大藪定信
公益財団法人 健康体力づくり事業財団	健康日本21推進全国連絡協議会幹事	全老連総務部長 谷野 香

ウ. 老人福祉関係予算等への対応

i. 平成29年度予算をめぐる動向

平成29年度予算案は、2月27日に衆議院を通過し、その後、3月27日の参議院本会議において可決・成立した。一般会計総額は5年連続で過去最大となる9兆7千4億5千47億円で対前年度当初予算比0.8%（7,329億円）の増、内、社会保障関係費は3兆2千4億7千35億円で同1.6%（4,997億円）の増となった。

老人クラブ関係予算は、8月末の厚生労働省予算概算要求時点において本年度同額の2億6千300万円が計上されたが、その後、予算編成の過程で2億6千100万円に減額され、12月の政府案の閣議決定、予算の成立をもって確定することとなった。

<平成29年度老人クラブ関係予算の概要>

	平成28年度	平成29年度
i) 高齢者地域福祉推進事業	2,630,674千円	→ 2,610,664千円
ア) 老人クラブに対する助成		
イ) 市町村老連に対する助成		
・活動促進事業		
・健康づくり・介護予防支援事業		
・地域支え合い事業		
・若手高齢者組織化・活動支援事業		
・市町村老連活動支援体制強化事業		
ウ) 都道府県・指定都市老連に対する助成		
・老人クラブ等活動推進事業		
・健康づくり・介護予防支援事業		
・地域支え合い事業		
・若手高齢者組織化・活動支援事業		
ii) 全国老人クラブ連合会助成費	8,856千円	→ 8,856千円

ii. 全社協政策委員会との連携

秋山隆政策委員会副委員長・幹事長を全社協政策委員会委員に選出し、連携を図った。

エ. 全老連「政策通報」の発行

都道府県・指定都市老連に対し、高齢者をめぐる制度・施策の動向や老人福祉・老人クラブに関わる予算の状況などについて速やかに伝達するため、「政策通報」（第85号）を発行した。

オ. 政策委員会等の経過

月	全老連政策委員会等の動向	国・審議会等の動き
4月		15日 全社協政策委員会幹事会（第1回） 22日 社会保障審議会介護保険部会（57回）
5月	27日 理事会（定時）	20日 全社協政策委員会総会 25日 社会保障審議会介護保険部会（58回） 26日 社会保障審議会医療保険部会（95回）
6月	15日 評議員会（定時） 理事会（臨時）	1日 第190回通常国会閉会 社会保障審議会介護給付費分科会（129回） 3日 社会保障審議会介護保険部会（59回） 15日 社会保障審議会介護給付費分科会（130回） 16日 社会保障審議会統計分科会生活機能分類専門委員会（16回） 17日 全社協政策委員会幹事会（第2回）
7月	4～5日 事務局長会議（第1回）	14日 社会保障審議会医療保険部会（96回） 20日 社会保障審議会介護保険部会（60回）
8月		1日 第191回臨時国会開会（～3日） 19日 社会保障審議会介護保険部会（61回） 26日 全社協政策委員会幹事会（第3回） 31日 社会保障審議会介護保険部会（62回） 厚労省、平成29年度予算概算要求を財務省へ提出
9月		7日 社会保障審議会介護保険部会（63回） 23日 社会保障審議会介護保険部会（64回） 26日 第192回臨時国会開会（～12月17日） 29日 社会保障審議会医療保険部会（97回） 30日 社会保障審議会介護保険部会（65回）
10月		12日 社会保障審議会医療保険部会（98回） 社会保障審議会介護給付費分科会（131回） 社会保障審議会介護保険部会（66回） 18日 全社協政策委員会幹事会（第4回） 19日 社会保障審議会介護保険部会（67回） 26日 社会保障審議会医療保険部会（99回）
11月		16日 社会保障審議会介護給付費分科会（132回） 社会保障審議会介護保険部会（68回） 18日 社会保障審議会医療保険部会（100回） 25日 社会保障審議会介護保険部会（69回） 30日 社会保障審議会医療保険部会（101回）
12月	6～7日 会長会議	8日 社会保障審議会医療保険部会（102回） 9日 社会保障審議会介護保険部会（70回） 社会保障審議会介護給付費分科会（133回） 22日 全社協政策委員会幹事会（第5回）

		平成 29 年度政府予算案閣議決定 平成 29 年度税制改正大綱閣議決定 28 日 社会保障審議会介護給付費分科会 (134 回)
1 月	10 日 「政策通報」(第 85 号) 発行	18 日 社会保障審議会介護給付費分科会 (135 回) 19～20 日 厚労省全国厚生労働関係部局長会議 20 日 第 193 回通常国会開会 25 日 社会保障審議会医療保険部会 (103 回)
2 月	8 日 事務局長会議 (第 2 回)	17 日 全社協政策委員会幹事会 (第 6 回) 27 日 社会保障審議会介護保険部会 (71 回)
3 月	14 日 理事会 (定時) 評議員会 (臨時)	10 日 厚労省全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議 27 日 平成 29 年度国家予算成立 31 日 社会保障審議会介護給付費分科会 (136 回)

## ② 女性委員会の設置・開催

女性委員会を開催して、女性の立場から高齢者の生活と福祉の向上並びに老人クラブ活動の発展に資する制度施策について調査研究を行うとともに、その対策活動を推進した。

### ア. 委員会の開催

期 日：平成 28 年 11 月 22 日 (火)

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第 1 会議室」

内 容：・「100 万人会員増強運動」の推進について  
・「老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーン」について  
・全国老人クラブ大会「演じる部会」について

### イ. 正副委員長打合せ会の開催

期 日：平成 28 年 12 月 6 日 (火)

会 場：東京都千代田区 全国老人クラブ連合会事務局

内 容：・「都道府県・指定都市老連会長会議」における報告について

#### 【女性委員会委員名簿】

委員長	駒 場 玲 子	埼玉県老連副会長・女性委員長
副委員長	伊 藤 八重子	秋田県老連副会長・女性委員長
委 員	長 澤 ふさ子	岐阜県老連副会長・女性部長
	頼 廣 安 子	神戸市老連理事・女性委員長
	川 口 鈴 江	広島県老連副理事長・女性委員長
	山 本 幸 子	高知県老連副会長・女性委員長
	中 尾 道 子	北九州市老連副会長・女性部会長

## ③ 老人クラブ活動を推進するための検討会の開催<国庫補助事業>

老人クラブ活動の適切かつ効果的な推進に向けて調査研究を行うことを目的に開催した。

本年度は、老人クラブの喫緊の課題である会員増強に関し、運動策定に携わった当時の政策委員会委員・幹事を招聘して、「会員増強運動に関する検討会」としてこれまでの運動の総括的評価を行うとともに、今後に向けた方向性について検討を行った。この内容は、全老連ホームページに掲載、報告した。

開催期日：平成29年2月2日（木）

会 場：東京都千代田区 商工会館「8A会議室」

内 容：・これまでの運動の総括的評価について  
・運動の成果について  
・今後の運動期間での対応について

メンバー：東京都老連会長	増田 時枝
東京都老連常務理事・事務局長	秋山 隆
山形県老連常務理事・事務局長	高橋 潔
千葉県老連常務理事・事務局長	大藪 定信
山口県老連事務局長	澤村有利生
全老連副会長	松寿 庶
全老連常務理事	齊藤 秀樹

#### ④ 都道府県・指定都市老連組織・事業調査の実施〈国庫補助事業〉

老人クラブの組織・活動の強化に資するため、都道府県・指定都市老連を対象に、組織体制と事業内容に関する調査を行った。

実施時期：平成28年9月

調査対象：63都道府県・指定都市老人クラブ連合会

調査項目：・事務局体制について  
・収支予算について  
・分担金（会費）収入について  
・補助金・委託金・助成金について  
・会員増強に関する取り組みについて  
・若手会員対策の取り組みについて  
・「健康づくり推進員」の活用について  
・重点事業について

結果報告：平成28年12月

## 4. 国内外の災害及び難民等の支援

国内外の災害被災地に、高齢者の善意を届ける支援活動を実施した。

### ① 国内の災害被災地支援

4月14日・16日と熊本県熊本地方を震源として発生し、熊本県内及び隣接する大分県由布市等に大きな被害をもたらした熊本地震災害に対して、熊本県老連が実施する「熊本地震災害救援拠金」への協力を都道府県・指定都市老連を通じて呼びかけた。

また、東日本大震災から5年目が経過する中、引き続き被災地のクラブの状況や全国からの支援活動を随時紹介して、復興支援を呼びかけた。

### ② 海外の災害被災地支援

本年度は、該当する災害がなかったため、実施しなかった。

# 相互扶助等事業

## 1. 活動の充実に資する拠金運動及び安全対策

老人クラブ活動の充実発展に資するため、全国の会員に呼びかけて拠金運動を展開するとともに、活動中や日常生活の事故に備えた「老人クラブ傷害保険」、活動中の加害に備えた「賠償責任保険」の組織的普及を図った。

### ① 活動拠金運動の実施

全国の会員の連帯意識を高めるとともに、「老人クラブ活動資金等造成運動」により、1会員1口を目標として昭和57年から平成28年までの34年にわたり会員章の組織的な普及、協力を得た。

28年度普及実績：3,804口（拠金額 1,894,800円）

普及累積：2,075,520口（拠金総額 559,376,530円）

### ② 活動安全対策

老人クラブ会員自身の活動中のケガに対応する「老人クラブ傷害保険・活動型」、活動中に加え日常生活のケガにも対応する「老人クラブ傷害保険・総合型」、活動中の他人への加害（ケガ・物損）に対応する「賠償責任保険」の組織的普及を図った。また、加入者の事故データを分析し、事故防止・安全対策の推進に努めた。

28年度加入実績：傷害保険（総合型・活動型）加入人数 291,993人

（保険料 496,380,500円）

賠償責任保険加入人数 92,609人

（保険料 9,260,900円）

## その他法人の目的を達成するための事業

### 1. 法人の運営及び法人事務の遂行

法人の適正・適切な運営を図るとともに、必要な事務を遂行した。

#### ① 法人の運営

##### ア. 評議員会の開催

###### i. 第1回評議員会（定時）

期 日：平成28年6月15日（水）

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第3～5会議室」

議 事：第1号議案 平成27年度事業報告について

第2号議案 平成27年度決算について

第3号議案 本会への新規加盟及び関連規程の一部改正について

第4号議案 表彰規程の一部改正について

第5号議案 評議員の選任について

第6号議案 理事及び監事の選任について

###### ii. 第2回評議員会（臨時）

期 日：平成29年3月14日（火）

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第3～5会議室」

議 事：第1号議案 平成29年度事業計画（案）について

第2号議案 平成29年度収支予算（案）について

第3号議案 評議員の補充選任について

説 明：・第46回全国老人クラブ大会の開催について

・第30回全国健康福祉祭あきた大会「地域文化伝承館」の開設について

##### イ. 理事会の開催

###### i. 第1回理事会（定時）

期 日：平成28年5月27日（金）

会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「特別会議室」

議 事：第1号議案 平成27年度事業報告について

第2号議案 平成27年度決算について

第3号議案 本会への新規加盟及び関連規程の一部改正について

第4号議案 表彰規程の一部改正について

第5号議案 女性委員会委員の承認について

第6号議案 平成28年度定時評議員会の招集について

報 告：・会長・常務理事の職務の執行状況について

- 説 明：・第45回全国老人クラブ大会について  
・今後の全国老人クラブ大会の開催について

ii. 第2回理事会（臨時）

- 期 日：平成28年6月15日（水）  
会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第6～7会議室」  
議 事：第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について  
第2号議案 政策委員会委員の推薦及び承認について  
第3号議案 表彰審査委員会委員の承認について

- 説 明：・第45回全国老人クラブ大会について

iii. 第3回理事会（決議の省略）

〔決議の省略による承認事項〕

- 承 認 日：平成29年1月18日（水）  
議 事：第1号議案 平成28年度臨時評議員会の招集について  
定款第41条「決議の省略」（「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」  
第96条。第197条で財団法人に準用）による承認事項

iv. 第4回理事会（定時）

- 期 日：平成29年3月14日（火）  
会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「特別会議室」  
議 案：第1号議案 平成29年度事業計画（案）について  
第2号議案 平成29年度収支予算（案）について  
第3号議案 事務局長等の任命について

- 報 告：・評議員会案件「評議員の補充選任」について  
・会長・常務理事の職務の執行状況について

- 説 明：・第46回全国老人クラブ大会の開催について  
・第30回全国健康福祉祭あきた大会「地域文化伝承館」の開設について

ウ. 監事会の開催

- 期 日：平成28年5月18日（水）  
会 場：東京都千代田区 商工会館「7D会議室」  
監査事項：・平成27年度事業報告について  
・平成27年度決算について

エ. 内閣府立入検査の実施

- 期 日：平成28年12月26日（月）  
会 場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会「第7会議室」及び本会事務局  
検査事項：・事業の実施状況について  
・法人自治について  
・財務・会計処理について

検査結果：いずれについても関係法令等に抵触する指摘事項なし

## ② 法人事務の遂行

### ア. 後援・協賛・協力の実施

老人保健福祉の向上に資する諸活動等に対し、後援・協賛・協力等を行った。

#### i. 後援

- ・全国歯科保健大会（厚生労働省）
- ・心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会（社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会）
- ・全国子ども会育成中央会議・研究大会（公益社団法人 全国子ども会連合会）
- ・シニアコーラス・TOKYO・フェスティバル（公益財団法人 日本チャリティ協会）
- ・クプナ・フラ・フェスティバル（公益財団法人 日本チャリティ協会）
- ・日本認知症グループホーム大会（公益社団法人 日本認知症グループホーム協会）
- ・全国デイ・ケア研究大会（一般社団法人 全国デイ・ケア協会）
- ・在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク全国の集い（NPO法人 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク）
- ・連続シンポジウム「地域で防ごう消費者被害」（日本弁護士連合会）

#### ii. 協賛

- ・春の全国交通安全運動（内閣府）
- ・秋の全国交通安全運動（内閣府）
- ・自殺予防週間（厚生労働省）
- ・自殺対策強化月間（厚生労働省）
- ・全国社会福祉大会（社会福祉法人 全国社会福祉協議会）
- ・全国シニア将棋名人戦（公益社団法人 日本将棋連盟）
- ・国民の健康会議（一般社団法人 全国公私病院連盟）
- ・全国青年大会（日本青年団協議会）
- ・西日本国際福祉機器展（西日本国際福祉機器展実行委員会）

#### iii. 協力

- ・津波防災の日（内閣府）
- ・エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加事例（内閣府）
- ・歯と口の健康週間（厚生労働省）
- ・高齢者の有毒植物誤食防止に向けた注意喚起（厚生労働省）
- ・消費者月間（消費者庁）
- ・春季全国火災予防運動（消防庁）
- ・秋季全国火災予防運動（消防庁）
- ・自転車利用者に対するルール遵守徹底のための広報キャンペーン（警察庁）
- ・全国レクリエーション大会（公益財団法人 日本レクリエーション協会）
- ・ニューエルダー・シチズン大賞（株式会社 読売新聞東京本社）



# 貸借対照表

平成29年 3月31日 現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	52,306,556	60,065,886	△ 7,759,330
前払金	5,000	5,000	0
未収金	1,576,094	1,764,363	△ 188,269
商品および製品	1,444,032	1,869,770	△ 425,738
貯蔵品	870,478	637,236	233,242
<b>流動資産 合計</b>	<b>56,202,160</b>	<b>64,342,255</b>	<b>△ 8,140,095</b>
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	30,000,000	30,000,000	0
<b>基本財産 合計</b>	<b>30,000,000</b>	<b>30,000,000</b>	<b>0</b>
(2)特定資産			
運用資金積立資産	90,441,419	90,441,419	0
団体退職積立資産	56,923,740	54,551,580	2,372,160
退職給付引当資産	10,000,000	10,800,000	△ 800,000
国際友愛特定資産	205,156,902	204,517,742	639,160
<b>特定資産 合計</b>	<b>362,522,061</b>	<b>360,310,741</b>	<b>2,211,320</b>
(3)その他の固定資産			
投資有価証券	0	0	0
什器備品	66,477	77,160	△ 10,683
ソフトウェア	489,402		489,402
<b>その他の固定資産 合計</b>	<b>555,879</b>	<b>77,160</b>	<b>478,719</b>
<b>固定資産 合計</b>	<b>393,077,940</b>	<b>390,387,901</b>	<b>2,690,039</b>
<b>資産 合計</b>	<b>449,280,100</b>	<b>454,730,156</b>	<b>△ 5,450,056</b>
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	8,914,436	10,037,578	△ 1,123,142
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	786,400	964,500	△ 178,100
預り金	327,357	425,852	△ 98,495
前受金	0	0	0
老人クラブ保険預り金	41,660,872	44,797,442	△ 3,136,570
賞与引当金	2,816,369	2,645,963	170,406
<b>流動負債 合計</b>	<b>54,575,434</b>	<b>58,941,335</b>	<b>△ 4,365,901</b>
2. 固定負債			
退職給付引当金	88,794,662	85,226,932	3,567,730
<b>固定負債 合計</b>	<b>88,794,662</b>	<b>85,226,932</b>	<b>3,567,730</b>
<b>負債 合計</b>	<b>143,370,096</b>	<b>144,168,267</b>	<b>△ 798,171</b>
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
国際友愛資産	205,156,902	204,517,742	639,160
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 205,156,902 )	( 204,517,742 )	( 639,160 )
<b>指定正味財産 合計</b>	<b>205,156,902</b>	<b>204,517,742</b>	<b>639,160</b>
2. 一般正味財産			
一般正味財産	100,753,102	106,044,147	△ 5,291,045
(うち基本財産への充当額)	( 30,000,000 )	( 30,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 90,441,419 )	( 90,441,419 )	( 0 )
<b>一般正味財産 合計</b>	<b>100,753,102</b>	<b>106,044,147</b>	<b>△ 5,291,045</b>
<b>正味財産 合計</b>	<b>305,910,004</b>	<b>310,561,889</b>	<b>△ 4,651,885</b>
<b>負債及び正味財産 合計</b>	<b>449,280,100</b>	<b>454,730,156</b>	<b>△ 5,450,056</b>

# 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備 考
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,000	7,520	△ 4,520	
特定資産運用益	0	0	0	
国際友愛資産からの振替額	0	5,000,000	△ 5,000,000	前年度特定資産運用益他振替
受取分担金	40,274,000	40,016,000	258,000	
事業収益	5,867,000	6,158,000	△ 291,000	
出版等事業収益	44,735,342	46,382,315	△ 1,646,973	
受取補助金等	16,856,000	16,856,000	0	厚生労働省(指定正味財産の部から振替額8,856,000)、みずほ教育福祉財団
受取会員章拠金	1,894,800	2,190,250	△ 295,450	
受取寄付金等	0	0	0	
雑収益	67,047	34,118	32,929	
経常収益 計	109,697,189	116,644,203	△ 6,947,014	
(2) 経常費用				
事業費	93,915,952	102,498,563	△ 8,582,611	
給料手当	20,120,765	21,199,651	△ 1,078,886	活動推進員設置費(国庫補助事業)含む
臨時雇賃金	3,861,099	3,340,971	520,128	
退職給付費用	2,739,330	3,220,785	△ 481,455	
福利厚生費	3,749,713	3,605,350	144,363	
会議費	6,859,464	6,739,063	120,401	
旅費交通費	2,456,850	2,471,788	△ 14,938	
通信運搬費	6,131,195	5,827,282	303,913	
減価償却費	8,173	8,225	△ 52	
消耗品費	851,244	710,423	140,821	
印刷製本費	13,099,011	14,275,056	△ 1,176,045	
製作費	2,114,570	2,580,384	△ 465,814	
賃借料	412,169	412,170	△ 1	
支払保険料	6,300	120,560	△ 114,260	
諸謝金	832,900	1,068,406	△ 235,506	
租税公課(消費税)	1,635,500	1,698,200	△ 62,700	
支払助成金	11,400,000	12,200,000	△ 800,000	
支援事業費	0	5,000,000	△ 5,000,000	
事務所管理費	1,204,993	1,234,756	△ 29,763	
委託費	7,747,154	8,200,695	△ 453,541	
支払手数料	6,284,524	6,280,987	3,537	
調査研究費	269,592	278,392	△ 8,800	
賞与引当金繰入	2,130,606	2,022,019	108,587	
雑費	800	3,400	△ 2,600	
管理費	21,002,282	19,071,038	1,931,244	
給料手当	8,039,035	6,596,934	1,442,101	
退職給付費用	828,400	1,003,195	△ 174,795	
福利厚生費	1,630,523	1,603,752	26,771	
会議費	394,756	314,404	80,352	
旅費交通費	4,657,648	3,975,536	682,112	
通信運搬費	605,712	685,553	△ 79,841	
減価償却費	28,268	2,458	25,810	
消耗品費	810,645	1,027,777	△ 217,132	
印刷製本費	403,543	361,015	42,528	
製作費	0	0	0	
賃借料	128,371	128,370	1	
支払保険料	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
租税公課(消費税)	2,900	600	2,300	
慶弔費	88,219	86,547	1,672	
支払助成金	0	0	0	
支援事業費	0	0	0	
事務所管理費	375,327	384,587	△ 9,260	
委託費	0	0	0	
支払手数料	644,792	503,152	141,640	
調査研究費	0	0	0	
賞与引当金繰入	685,763	623,944	61,819	
雑費	1,678,380	1,773,214	△ 94,834	
経常費用 計	114,918,234	121,569,601	△ 6,651,367	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,221,045	△ 4,925,398	△ 295,647	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 5,221,045	△ 4,925,398	△ 295,647	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益 計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
過年度費用	0	0	0	
経常外費用 計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,221,045	△ 4,925,398	△ 295,647	
法人税等	70,000	70,000	0	
当期一般正味財産増減額	△ 5,291,045	△ 4,995,398	△ 295,647	
一般正味財産期首残高	106,044,147	111,039,545	△ 4,995,398	
一般正味財産期末残高	100,753,102	106,044,147	△ 5,291,045	
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>				
受取補助金等	8,856,000	8,856,000	0	
国際友愛資産運用益	605,481	1,746,561	△ 1,141,080	
国際友愛資産評価益	33,679	27,635	6,044	償却原価法による有価証券増加額
受取寄付金	0	0	0	
一般正味財産への振替額	△ 8,856,000	△ 13,856,000	5,000,000	
当期指定正味財産増減額	639,160	△ 3,225,804	3,864,964	
指定正味財産期首残高	204,517,742	207,743,546	△ 3,225,804	
指定正味財産期末残高	205,156,902	204,517,742	639,160	
<b>III. 正味財産期末残高</b>	305,910,004	310,561,889	△ 4,651,885	

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

### 2. 重要な会計方針

平成25年度から、「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)を採用している。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び製品・・・個別原価法に基づく原価法によっている。

貯蔵品・・・総平均法に基づく原価法によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を行っている。

#### (4) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金・・・職員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額のうち当事業年度に帰属する金額を計上している。

#### (5) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (6) 消費税等の会計処理

消費税込みで会計処理している。

### 3. 重要な会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
運用資金積立資産	90,441,419	0	0	90,441,419
退職給付引当資産	10,800,000		800,000	10,000,000
団体退職積立資産	54,551,580	2,372,160		56,923,740
国際友愛特定資産	204,517,742	639,160		205,156,902
小 計	360,310,741	3,011,320	800,000	362,522,061
合 計	390,310,741	3,011,320	800,000	392,522,061

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000		( 30,000,000 )	
小 計	30,000,000		( 30,000,000 )	
特定資産				
運用資金積立資産	90,441,419		( 90,441,419 )	
退職給付引当資産	10,000,000			( 10,000,000 )
団体退職積立資産	56,923,740			( 56,923,740 )
国際友愛特定資産	205,156,902	( 205,156,902 )		
小 計	362,522,061	( 205,156,902 )	( 90,441,419 )	( 66,923,740 )
合 計	392,522,061	( 205,156,902 )	( 120,441,419 )	( 66,923,740 )

6. 担保に提供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	237,405	170,928	66,477
ソフトウェア	515,160	25,758	489,402

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
該当なし。

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）の偶発債務  
該当なし。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債	150,000,000	154,995,000	4,995,000

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 国庫補助金	厚生労働省		8,856,000	8,856,000	0	
助成金 民間助成金	みずほ教育福祉財団		8,000,000	8,000,000	0	
合 計		0	16,856,000	16,856,000	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
該当なし。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 受取国庫補助金	8,856,000
経常外収益への振替額	0
合 計	8,856,000

14. 関連当事者との取引内容

関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

種類	法人等の名称	住所	資産 総額 (単位: 千円)	事業の内容又 は職業	議決権 の所有 割合	関係内容		取引の 内容	取引金額 (単位:千円)	科目	期末 残高 (単位: 千円)
						役員 の 兼務	事業上 の 関係				
監事	渡部 博	東京都渋谷区	-	公認会計士	-	-	会税務業務 の委託	会税務業務 の委託	1,360	-	-

15. 重要な後発事象

該当なし。

16. その他

該当なし。

# 財産目録

(平成29年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>I. 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	<b>普通預金</b> 三井住友銀行東京公務部 三井住友銀行東京公務部 三井住友銀行東京公務部 三井住友銀行東京公務部 三井住友信託銀行芝営業部	公益目的事業、収益等事業及び法人会計の運転資金等として 収益等事業(安全対策)の保険料預り金 (公1)活動活性化・調査研究事業の運転資金として 収益等事業(組織充実事業)の運転資金として 公益目的事業、収益等事業及び法人会計の運転資金等として	3,851,841 11,605,142 2,967,781 3,172,698 110,417
	<b>振替口座</b> ゆうちょ銀行貯金事務センター ゆうちょ銀行貯金事務センター ゆうちょ銀行貯金事務センター ゆうちょ銀行貯金事務センター	(公1)活動活性化・調査研究事業の運転資金として (公1)活動活性化・調査研究事業の運転資金として 収益等事業(安全対策)の保険料預り金 収益等事業(安全対策)の保険料預り金	352,879 361,546 29,491,016 393,236
前払金		収益等事業(安全対策)保険料暫定先払い分として	5,000
未収金	全国社会福祉協議会他 山形県老人クラブ連合会他	(公1)活動活性化・調査研究事業の図書編纂料等未収 収益等事業(組織充実事業)の会員章抛金未収	1,332,094 244,000
商品及び製品 貯蔵品		(公1)活動活性化・調査研究事業図書教材棚卸 収益等事業(組織充実事業)会員章棚卸	1,444,032 870,478
流動資産合計			56,202,160
<b>2. 固定資産</b>			
(1)基本財産	<b>定期預金</b> 三井住友銀行東京公務部	公益目的保有財産(運用益を公益目的事業費に充当)	30,000,000
基本財産合計			30,000,000
(2)特定資産			
運用資金積立資産	<b>普通預金</b> 三井住友銀行東京公務部 三井住友銀行東京公務部		62,441,419 28,000,000
団体退職積立資産	全国社会福祉団体職員積立基金	法人会計管理で職員退職給付引当見合の引当資産として管理	56,923,740
退職給付引当資産	<b>普通預金</b> 三井住友銀行東京公務部	職員退職給付引当見合の引当資産として管理	10,000,000
国際友愛特定資産	<b>普通預金</b> 三井住友信託銀行芝営業部 <b>定期預金</b> 三井住友信託銀行芝営業部 <b>利付国債</b> 三井住友信託銀行芝営業部 三井住友信託銀行芝営業部	(公2)国内外災害等支援事業(運用益を公益目的事業費に充当) (公2)国内外災害等支援事業(運用益を公益目的事業費に充当) (公2)国内外災害等支援事業(運用益を事業費に充当) (公2)国内外災害等支援事業(運用益を事業費に充当)	0 55,421,588 99,654,564 50,080,750
特定資産合計			362,522,061
(3)その他固定資産			
什器備品	事務所内耐火金庫	公益目的保有財産として(66,477×使用割合) 収益等事業目的保有財産として(66,477×使用割合) 法人運営目的保有財産として(66,477×使用割合)	26,562 17,249 22,666
ソフトウェア	会計用ソフトウェア	法人運営目的保有財産として	489,402
その他固定資産合計			555,879
固定資産合計			393,077,940
<b>資産合計</b>			<b>449,280,100</b>
<b>II. 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	東洋紙業(株)他 (福)全国社会福祉協議会他 ヤマト運輸(株)	(公1)活動活性化・調査研究事業に関する印刷代他の未払 法人運営に関する会議費他の未払 収益等事業(組織充実)に関する送付代他の未払	7,320,388 1,591,464 2,584
預り金	職員、原稿執筆者	法人会計管理で源泉所得税等	327,357
老人クラブ保険料預り金		収益等事業(安全対策)に関する保険料預り金	41,660,872
賞与引当金			2,816,369
未払法人税等			70,000
未払消費税等			786,400
流動負債合計			54,575,434
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金			88,794,662
固定負債合計			88,794,662
負債合計			143,370,096
<b>正味財産</b>			<b>305,910,004</b>